

# Kuki



市民と市政をつなぐ情報紙



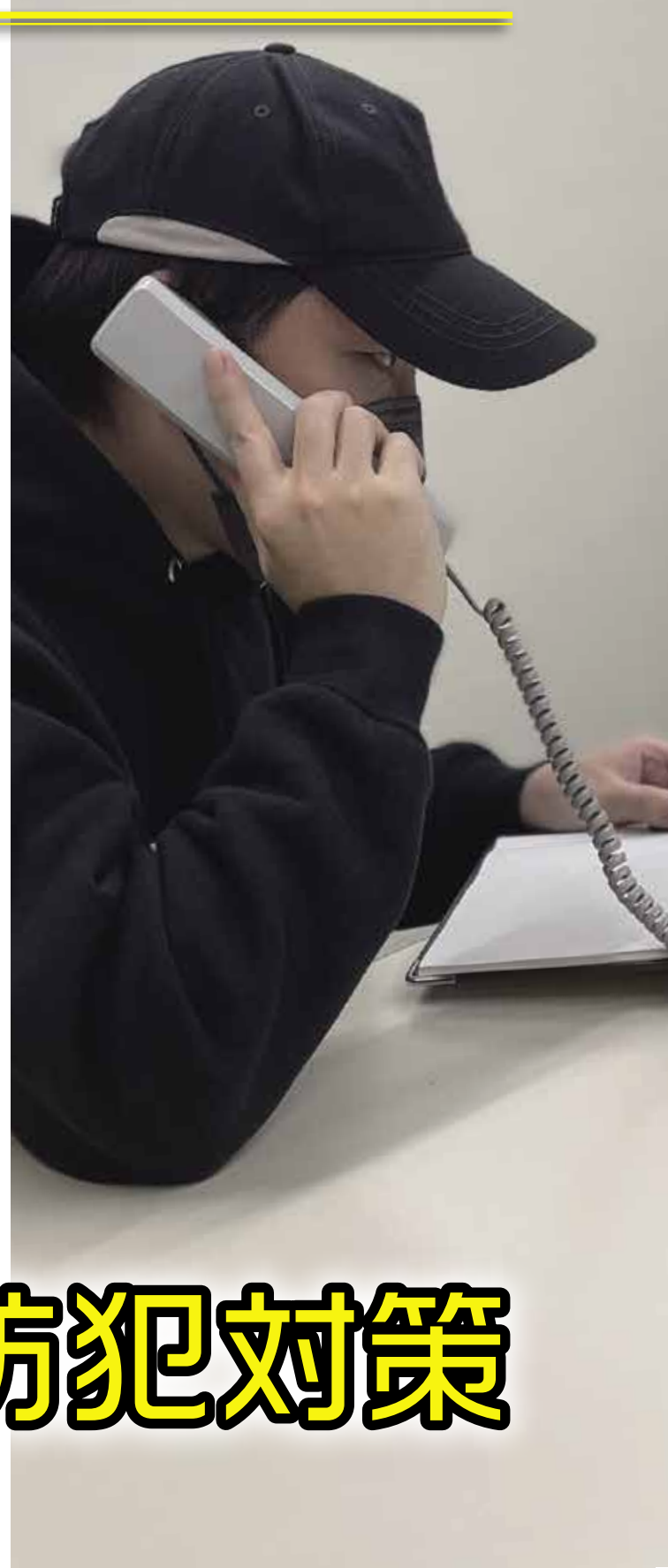
広報くき

7

2023 (令和5年)  
No.268

次に狙われるのはあなたかも?

今からできる**防犯対策**



次に狙われるのはあなたか？

# 今からできる防犯対策

夏休みが始まり、家を空ける事が多くなる7月。全国各地で被害が後を絶たない、強盗や侵入窃盗事件。また、特殊詐欺も日々手口が巧妙化し、注意しているつもりでも詐欺に気付かないケースも。この機会に、いま一度防犯対策を見直してみませんか。

## 油断したスキを狙われる

市内で令和4年に発生した犯罪のうち、約2割を「自転車盗」が占め、159件の被害が出ました。また、住宅等への「侵入窃盗」被害も毎年、後を絶ちません。そして、特に注意が必要なのが「特殊詐欺」。認知件数、被害金額ともに年々増加しており、手口も日々巧妙化しているため、誰でも騙されてしまう可能性があります。これらの犯罪は、どこか他人事のように感じてしまいがち。「まさか自分が被害に遭うわけない」、「少しの間だけなら鍵を閉めなくても大丈夫」と思っていますか。あなたがそう油断した些

細なスキを、犯人は狙っているのです。

被害に遭わないためには、「いつ自分が狙われてもおかしくない」という意識を持ち、どのような対策をしたら良いのかを、一人ひとりが考える必要があります。

## 普段からの備えが重要

市内で起こる犯罪は、私たちが日々生活する中で、少し心掛けて習慣付けてしまえば、簡単に防げるものもあります。「家に対策グッズを備えておく」、「家族間で合言葉を決めておく」など、この機会に家族で話し合っ、防犯対策を見直してみませんか。

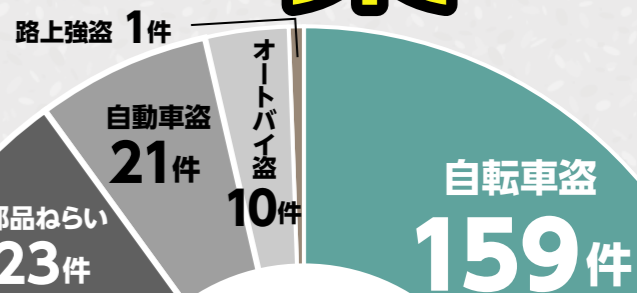
## 自転車盗の対策

被害の約60%がカギをかけていない自転車



- ① 確実にカギをかける
- ② ワイヤーロックで二重に施錠

※ヘルメットや、電動アシスト自転車のバッテリー盗難にも注意しましょう！



令和4年  
市内犯罪認知件数  
(818件)のうち  
主なもの

特殊詐欺  
35件

住宅対象  
侵入窃盗  
40件



## 5分が分かれ目

働都市防犯研究センターによると、侵入に手間取り、5分以上かかると侵入者の約7割はあきらめ、10分以上かかると侵入者のほとんどはあきらめるといいます。「侵入に時間をかけさせる」。これが侵入されるかどうかの大きなポイントになります。

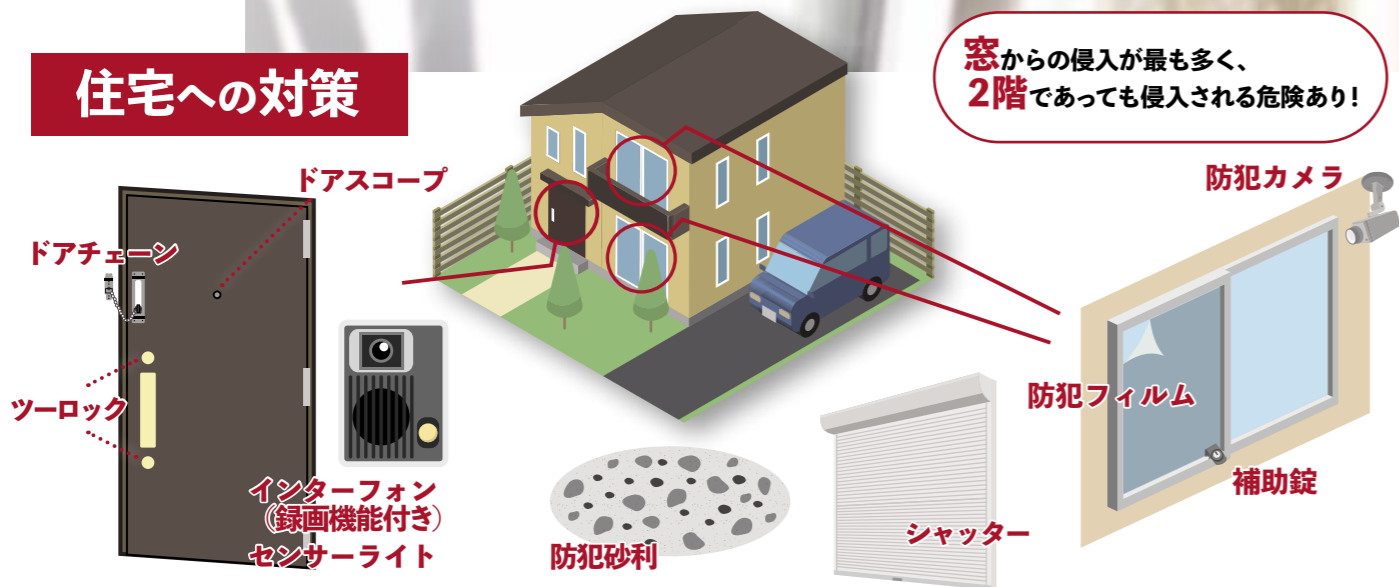
久喜警察署調べ▶  
(全818件のうち、生活に身近な犯罪(321件)を抜粋)

— 少しの油断で狙われる —

# 侵入窃盗

市内で令和4年に発生した「侵入窃盗」(住宅対象以外も含む)の件数は67件。手口は留守を狙った「空き巣」が一番多いものの、夜間の就寝時に侵入する「忍び込み」や、在宅時の昼寝や食事等の間に侵入する「居空き」も発生しており、在宅時でも注意が必要です。

## 住宅への対策



窓からの侵入が最も多く、  
2階であっても侵入される危険あり!

## 地域の安全を 地域で守る

### 備え付けの防犯機能も活用して

現在、市内では空き家の空き巣が非常に多く発生しています。しかし、従来からの留守を狙った空き巣の被害も後を絶ちません。対策としては、2つの方法で考えていただきたいと思えます。まず「入れられない」方法。私は対策グッズの中でも、安価で効果的な補助錠がお勧めです。次に「入られたとしても後から犯人を追跡できる」方法。多くの犯人は、インターフォンを鳴らして留守を確認するので、インターフォンにはぜひ録画機能を付けてください。でも、まずはその前に、住宅に備え付けの防犯機能を最大限活用してください。鍵の閉め忘れには要注意ですよ。

そして一番怖いのが、侵入犯と鉢合わせしてしまうこと。難しいとは思いますが、110番の敷居を皆さんの中で少し下げてください。



久喜警察署 生活安全課長  
かめざわ だいすけ  
亀澤 大輔さん

### 地域の目が防犯の大きな力に

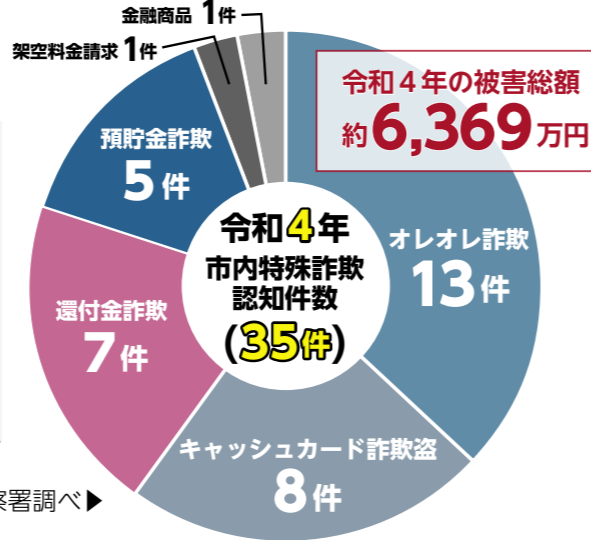
久喜市や、管轄の近隣地域ですごくいいなと思うのが、隣の空き家のガラスが割れていると、近所の人から何件も通報が入るんです。それも同じ建物に対して。自分の地域の安全を守らなくちゃという意識を、地域で持つことができていく証拠です。そういう地域の目というのは、とても重要です。今後も、地域が1つの家族のように周りを見ていただきつつ、困ったことは警察などに相談し、我々の気付かない部分をカバーしていただきたいと思います。世代が交代しても、そういう地域の文化は守ってほしいと思いますね。

## 本当にその人は職員？

行政機関等が、還付金の受け取り等のお手続きのためにATMの操作をお願いすることは**ありません**。また、納税のために金融機関の口座を指定して、現金の振り込みを求めるとは**ありません**。  
不安を感じたら、相談窓口または市役所の各担当課へご連絡ください。



久喜警察署調べ▶



## 詐欺への対策

### 最も有効なのは**犯人と話さないこと**

次のような対策も効果的です /



留守番電話



ナンバーディスプレイ



通話録音装置



合言葉を決める

## 普段から危機意識を



久喜警察署 生活安全課長  
こばやし ひろゆき  
**小林 宏行さん**

県警公式チャンネルで  
動画を公開中 ▶



**他人事として考えないで**  
特殊詐欺の電話は、皆さんのところにもいつかかってくるか分かっていません。まずは、他人事として考えてほしくないと思います。ニュースや新聞でも毎日のように報道されていますが、いざ自分に電話がかかってくると、慌てて騙されてしまう方が多いんです。自分が被害の当事者になるかもしれないという意識を持って、いざという時には慌てず対応する。そういった普段からの心構えが一番大事かなと思います。  
中には、警察官が「それは詐欺ですよ」と説明しても、詐欺だと気がかない方もいらっしゃると思います。1時間説得しても納得してもらえず、息子さんと連絡が取れて話をさせると、詐欺だったん

だって魔法が解けるんです。本当に魔法のように、犯人側も言葉巧みに、あの手この手で方法を考えられます。  
あとは、電話でお金とかキャッシュカードの要求の話が出た時には、特に落ち着いていただきたい。誰かにお金を渡す前に、まず我々に相談してほしいですね。  
**家族や地域で進んで声かけを**  
警察が言うよりも、家族が言うほうが聞いてくれると思いますし、普段から何でも相談できる関係、家族の絆を作っておいてほしいと思います。また地域では、ATMで高齢者が携帯電話を使っていたら、騙されているかと思っと思って警察に通報したり、大丈夫ですかと積極的に声を掛けていただくようお願いいたします。

## 急な電話でも焦りは禁物

# 特殊詐欺

**始まりは1本の電話から**  
特殊詐欺とは、犯人が電話などで対面することなく、親族や公共機関の職員などを名乗って相手を信頼させ、現金やキャッシュカードを騙し取る犯罪のことです。全国で毎日のように被害が発生し、被害件数も高止まりしているのが現状です。市内でも、令和4年には35件の被害が発生し、その被害額は約6369万円にも上ります。  
その手口は非常に巧妙ですが、こうした被害のほとんどは、1本の電話に出たことがきっかけ。前から特殊詐欺のを知っている人も、電話に出してしまうと、犯人の言葉巧みな話を信じて騙されてしまうのです。  
**誰かにすぐ相談できる環境を**  
特殊詐欺の被害者のうち、9割以上が65歳以上の高齢者。「自分は騙されるはずがない」「うちの親は大丈夫」と、思い込んでいませんか。  
「もしかして詐欺かも」と思ったときに、家族や身近な人と一緒に相談できる環境があることも、被害を防ぐためには大切です。家族みんなで情報を共有し、この機会に対策を話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 還付金詐欺

自治体や税務署等の職員を名乗り、医療費や年金などの還付金があると言ってATMを操作させ、現金を振り込ませる詐欺。



「ATMで還付金を受け取れる」

「払い戻しには期限があるから、今すぐ携帯電話を持って近くのATMへ」

## オレオレ詐欺

息子や孫になりすました犯人から電話があり、仕事のトラブルなどを口実に、お金を要求する詐欺。



「会社のお金が入ったバッグを失くした」

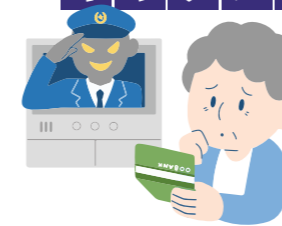
「訴えると言われてお金が必要」

「風邪を引いた」「携帯番号が変わった」などと最初に連絡し、不自然に思われないようにするケースも。

## それ、詐欺かも？ 代表的な手口を紹介します

被害が増加中 /

## キャッシュカード詐欺盗



警察官などと偽って電話をかけ、キャッシュカードの不正利用などの名目で嘘の手続きを説明し、自宅を訪れて、目を離した際にカードをすり替え盗み取る詐欺。

「銀行口座が不正に利用されている」

「キャッシュカードを確認しに行く」

## 預貯金詐欺



キャッシュカードの確認や取替の必要があるなどの口実で自宅を訪れ、カードや通帳を預かると言って騙し取る詐欺。

「払戻し金の手続きのため暗証番号を教えて」

「キャッシュカードを交換する必要がある」

# STOP!

# 地域全体の防犯意識の底上げ 地域の目で見守る

市で行っているまちの見守り活動をご紹介します。  
皆さんも、犯罪を他人事にせず、自分にできることから始めてみませんか。

犯罪者が好むまち、嫌いなまち  
皆さんは「割れ窓理論」という言葉を知っていますか。これは、壊れた窓を放置すると、その建物には管理が行き届いていないと思われ、いたずらや犯罪の餌食となり、建物全体、さらには地域全体が崩壊していくというもの。犯罪者は、ごみが散乱するまちや、落書きの多いまち、あいさつを交わすことのないまちを見て「ここでは怪しまれない」と思う傾向にあります。

一方で、犯罪者が嫌いなまちが、近所付き合いが良く、連帯感のあるまち。犯行をあきらめた理由でも「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた」が最も多く挙げられています。

地域の絆が大きな防犯力に  
「防犯のまちづくり」とは、すなわち犯罪者に「犯罪の機会を作らせない、与えない」こと。そのためには、1人ひとりが防犯意識を高めることはもちろん、地域で協力して防犯環境を作り上げていくという意識も欠かせません。そして、何かあった時にはいつでも相談し合えるような地域コミュニティを築き、まち全体に防犯の目を張り巡らせることが重要です。

犯罪は、いつあなたの身に起こるか分かりません。だからこそ、普段から、自分たちのまちを自分たちで守ろうと地域の絆を深めておく必要があります。皆さんも、このまちで安全で安心して暮らすために自分には何が出来るのか、いま一度考えてみてはいかがでしょうか。



## “動く防犯カメラ” ドライブレコーダーを活用した見守り

5月23日、久喜市と久喜警察署および幸手警察署の3者で「ドライブレコーダーを活用したまちの見守り活動に関する協定」を締結しました。市の公用車や、協力事業者の保有する車両に搭載されたドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として、まちの見守りや警察の捜査に活用していきます。



▲小久保和浩 久喜警察署長（写真左）、村越俊文 幸手警察署長（写真右）

## 市内で活動している事業者を対象に 協力事業者を募集

ドライブレコーダー搭載車両に「見守り活動実施中ステッカー」を貼り、市内で活動を行っていただくことで、地域の見守り活動の目を増やします。  
久喜・幸手警察署からの協力要請に基づき、市から情報提供を呼びかけますので、提供できる記録画像などをお持ちの場合には、速やかに警察に情報提供をお願いします。

皆さんに『まちの安全に貢献している』という気持ちを持ってもらい、それがどんどん広がって、まち全体の防犯意識が上がることを期待しています。  
(幸手警察署 亀澤さん)

防犯カメラは、どこにでも設置されているわけではないので、このように車を活用して犯人の姿を確認できれば、事件の早期の解決に繋がるのではと思います。  
(久喜警察署 小林さん)



インターネットでの偽通販サイトにご注意!!

あら安い!

前買ったサイトとちょっとちがうけど...

まあ、いっか!

注文!

後日

商品が届かない!

連絡先にもつながらない!

188に相談すると

偽のサイトですね

だまされた...

契約、悪質商法、製品・食品やサービスによる事故等のご相談は、  
消費者ホットライン **188**へ!

© 埼玉県消費生活課

### 編集後記

今回の特集は、自分自身の学びにもなり、防犯対策を見直さきっかけとなりました。  
そして実は、表紙の写真は本当のおばあさまとお孫さんです。本当は仲良しなお2人。すぐに相談できる関係性を日頃から作っておくことも、防犯対策になります。私も、こまめに両親と祖父母に連絡を取ろうと思います! (松下)

## いざというときの通報先

- 【事件・事故を発見した】  
→110番または最寄りの警察署  
(久喜警察署 ☎24-0110、幸手警察署 ☎42-0110)
- 【事件・事故で困ったこと、警察活動へのご意見等】  
→「けいさつ総合相談センター」#9110

## 防犯情報をすぐにお届け

市メール配信サービス  
「安全・安心情報メール」

県警メールマガジン  
「犯罪情報官NEWS」

## 子どもレディース110番

「子ども・レディース110番の家」では、身の危険を感じ避難してきた方の保護を行っています。協力いただける方は、避難してきた方を一時的に保護し、必要に応じて学校やご家族、警察への連絡をお願いします。



協力いただける方は  
市民生活課へ!  
☎22-1111 (内線2629)



## ランニングパトロール隊

市内で、週1回以上定期的にランニングやジョギングを行っている方に、日頃の活動の範囲内で「児童生徒の見守り」や「防犯灯の故障や道路の不具合箇所の通報」など、地域の安全・安心見守り活動をお願いします。

皆さんご協力をお願いします!